

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2371500352
事業所名	サポートハウスおおばり

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい (外部評価項目: 2)	評価
	地域の夏祭りに利用者が参加するなど、地域との交流がコロナ禍前の状態に戻りつつある。 今年は、伝統的な地域行事である「お月見どろぼう」も、平常通りに利用者が参加して行われる予定である。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み (外部評価項目: 3)	評価
	過去1年間に6回の運営推進会議が開催されており、半数の3回が同法人の姉妹ホーム(サポートハウスごくらく)との合同開催である。 昨年9月、サポートハウスごくらくでコロナ感染が拡大した時のみ書面開催としたが、それ以外の5回は通常の対面開催を続けている。	○
重点項目③	市町村との連携 (外部評価項目: 4)	評価
	ホームと法人本部が同一建物内にあり、区役所をはじめ行政対応の多くは法人本部の役割となっている。 生活保護受給者が3名利用しており、毎年1回、区の担当職員がホームを訪問して生活状況を確認している。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映 (外部評価項目: 6)	評価
	マスクの着用や検温はするものの、家族面会は時間制限もなく、ほぼコロナ禍前の状態に戻っている。 家族がホーム内に入り、居室での面会も自由である。 家族来訪時には、職員が家族の意見や要望を聞き取っている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

【備考欄】

<p>昨年9月、新型コロナウイルスの感染予防の観点から、1回のみ書面開催として運営推進会議を行ったが、それ以外の5回は通常の対面開催を続けている。</p>

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況(外部評価)が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的(年2回以上)に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的(年2回以上)に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	×	○	○	○	○	○	◎	○	◎	○	◎
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	○	◎	○	◎							